

第一回地上局ネットワーク・ワークショップ

- First Announcement -

主催：UNISEC（大学宇宙工学コンソーシアム）

1. ワークショップの目的

近年多くの国で大学学生の手によって小型衛星が開発され、そのうちの数機はすでに打ち上げられ、大学の地上局によって運用が行われている。近い将来、さらに多くの大学衛星が打ち上げられることを考えると、全世界に散らばる大学・高専の地上局をインターネット等を介してネットワーク化し相互に協力しあうことが、運用の効率を上げるきわめて有効な手段であると考えられる。この「地上局ネットワーク（GSN）」により、衛星の運用の機会が増える、地上局の故障時や天候・気象による使用不可能時にも代替地上局による運用にすぐ切り替えができる、衛星に問題が発生したときなども迅速な対応が可能になる、などの多くのメリットが期待でき、また、そのメリットはより多くの大学が参加することでさらに高まるであろう。UNISEC（大学宇宙工学コンソーシアム：大学・高専学生による手作り衛星・ロケット活動をサポートする NPO 組織）では、そのような利点に早くから目をつけ、東京大学が中心となってインターネットを介した GSN の構築を開始し、技術的な側面だけでなく、法的・手続き的な面も含めて検討を続けてきた。その結果、ほぼ大きな問題はクリアされ、世界中の大学に呼びかけて GSN を実際に構築するフェーズとなっている。同時に、将来的には遠隔運用システムに発展させることを想定した技術的検討も行っており、こちらも大学間で実験ができる状況にまで成熟した。

本ワークショップでは、このような現状を踏まえ、GSN のコンセプトや遠隔運用システムを紹介して多くの大学への参加を呼びかけるとともに、実際の GSN 構築の手続きのティーチング、技術的・法的問題点とその解決法に関する情報交換など、世界規模の GSN 構築に向けた実際的な交流を行うことを目的としたものである。

2. ワークショップのスケジュール（場所：東京大学本郷キャンパス いずれも 2006 年）

7月18日（火） 招待講演会（午前）とGSN構築作業の実習（午後）（日本語day）

- 招待講演：・GSN および遠隔運用システムのコンセプトと実験成果
・アマチュア無線家コミュニティの協力とその効果、等 4 件程度

7月19日（水） 一般講演会（午前）とGSN構築作業の実習（午後）（英語day）

- 一般講演：・外国大学の取り組み（2, 3 件程度）
・国内大学の取り組み（2, 3 件程度）

（注）なお、7月17日（祝日）には東京大学で UNISEC 年次総会が開催される。

3. 講演の申し込みなどに関して

一般講演（英語）では、GSN に向けた大学・高専での取り組みの紹介、GSN に関連する実験結果、GSN に関連する技術検討の報告、GSN に関連する法的問題の議論、GSN の将来の発展性の提案、などを受け付ける。また、発表なしでの参加も受け付ける。書式、締め切りなどは UNISEC ホームページ (<http://www.unisec.jp>) を参照のこと（近日、情報を掲載予定）。質問等は gns_office@unisec.jp へ。